

直方病院レター 第23号

「着任のご挨拶」



外科医長 坂牧 仁

この度、社会保険直方病院外科に着任致しました坂牧 仁（さかまき じん）と申します。

福岡県福岡市の出身で、平成11年福岡大学を卒業後、福岡大学病院 消化器外科（当時 外科第一）へ入局し、以降主に福岡市内の関連施設で外科修練を積んで参りました。

常に丁寧な診療を心掛けております。患者さんが不安、疑問に思われる事を重点的に解決していきたいと考えています。

近年、ヒゲの手入れと総胆管結石症に対する内視鏡治療をライフワークとして参りました。それに付随する胆嚢結石症（いわゆる胆石）の治療も並行して行っております。

今回縁があり直方地区での勤務となりました。馴れない地域での診療で戸惑いもあり、何かとご迷惑をお掛けする事もあるかとは存じますが、何卒宜しくお願い致します。

「着任のご挨拶」



外科 池田 裕一

このたび 4 月より社会保険直方病院に着任いたしました池田裕一と申します。平成 23 年に福岡大学医学部を卒業し、福岡大学病院で 2 年間の初期研修を行い、福岡大学消化器外科に入局しました。入局後の 1 年間は福岡大学病院に在籍し、8 か月間を消化器外科で過ごし、2 ヶ月間ずつ、心臓血管外科と呼吸器・乳腺内分泌・小児外科をローテートしました。その後 2 年間福岡大学筑紫病院の外科で修練を積み、医師 6 年目で現職場にやって参りました。今まで大学病院がメインでしたので、一般病院で働き、勝手が違うことに戸惑うこともあります。次第に慣れていきたいと思えます。大学病院と比べ、悪性疾患の手術は少ないですが、これまでの経験を活かし、責任を持って患者さんと接していくことで、自分のレベルアップにつながればと思えます。また、開腹手術はもちろんですが、腹腔鏡のヘルニア、大腸癌にどんどんチャレンジしていきたいです。

話は大きく変わりますが、自分の生き立ちについて書かせていただきます。1981 年に千葉の勝浦という漁港の町で生まれ、中学までは地元に通い、高校は東邦大学東邦高等学校に行きました。浪人を経て、福岡大学に入り、そのまま福岡で働き、結婚し、子供も 2 人生まれ、今に至ります。そんな私ですが、地元勝浦を愛しています。関東で一番人口の少ない市ですが、もちろん魚介は日本一いや、世界一おいしいと思っています。私のおすすめはカツオ、アワビ、サザエです。あとは、B 級グルメの勝浦タンタンメンも絶品です。なぜ、地元を愛している私が、福岡にいるのかというと、それ以上に愛する子供の育児のためですかね。千葉に行った際はディズニーランドだけでなく、ぜひ勝浦まで足を延ばしてみてください。

医局人事で動いているため、直方病院にはいつまでいられるかはわかりませんが、頑張っていきます。よろしくお願ひします。

「着任のご挨拶」



循環器内科 早川 裕紀

この度社会保険直方病院循環器内科に着任いたしました早川裕紀と申します。地元は北九州で中学・高校は長崎県私立青雲学園で青春を過ごしておりました。その後は地元北九州市に戻り、平成 25 年に産業医科大学医学部を卒業しました。卒業後は山口県周南市の徳山中央病院で初期臨床研修医として勤務しました。徳山中央病院は地域の中核病院で多いときは 1 日 20 台を超える救急車の受け入れがあり、当直中は一睡もせずに翌日の勤務を行うことも度々ありました。Common disease から重症症例まで幅広く研修でき良い経験となりました。初期研修終了後 3 年目は産業医科大学病院循環器内科で修練医として勤務しました。大学病院ならではの重症症例等の治療に従事しておりました。

学生時代は産業医科大学準硬式野球部に所属しておりました。野球部 5 年時には西日本医学部体育大会で優勝することができました。夏場は猛暑で体力が奪われる中、朝から夕方まで練習し、かなり体力がつかしました。また、多くの先輩や後輩と知り合えたことで大学でも気軽にコンサルトしたりと縦のつながりの重要性を認識できました。現在は、運動は全くと言っていい程していませんが、準硬式野球部で培った体力で何とか頑張っております。

平成 28 年より循環器内科として社会保険直方病院に勤務させていただくことになりました。専門は循環器内科で、ペースメーカー植え込み術、経皮的冠動脈血行再建術、経皮的下肢動脈血行再建術等の手術や心不全等の治療を行っております。超高齢化社会に伴い、今後心疾患の患者数も増加することが予想されます。心疾患の予防には高血圧症、脂質異常症、2 型糖尿病などのリスクファクターのコントロールも重要です。胸部症状や心不全が疑われたりと疑問点などがございましたら気軽にご連絡ご紹介いただけますと幸甚です。直方の地域医療に役に立てるように日々努力したいと思いますので何卒よろしく願いたします。

「着任のご挨拶」



整形外科 宇都宮 祥弘

このたび、社会保険直方病院整形外科に着任しました宇都宮祥弘と申します。平成 25 年に産業医科大学を卒業し、愛知県知多市民病院で 2 年間の初期研修を修了後に、産業医科大学整形外科に入局しました。同年より、産業医科大学に 1 年半勤務し、平成 28 年 10 月より社会保険直方病院に着任しております。専門はまだなく、整形外科全般に興味があり、日々仕事に勉学に一生懸命取り組んで行きたいと考えております。未熟な面が多々ありますが、西田副院長指導のもと頑張ります。

現在は直方市内に引っ越しており、病院からも近く、呼び出しや緊急時に対応できるように構えておりますので、何かございましたらご連絡いただくと幸いです。

仕事以外では、スポーツ全般なんでも興味があり、観るのも、するのも好きです。現在の体型からは想像できないかもしれませんが、小学生から大学生まではサッカーをしており、今より 20kg 痩せておりました。サッカーをする機会はめっきり減りましたが、たまにメディカルリーグやフットサルの試合に顔を出しております。最近はおっぱら、研修医時代から始めたゴルフに凝っております。大学勤務のときも当直、日直以外の可能な日はラウンドに行っておりました。暇を見つけてラウンドできたらなと考えております。また、体型通り、おいしいものを食べたり飲んだりするのも好きです。直方でもご当地のおいしい店を探してみたいと思います。

医者 4 年目、整形外科 2 年目という時期ですので、すべてのことを吸収し、成長していきたいと考えております。皆様にご迷惑をかけないよう精進して参りますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。